

2023年(令和5年)1月10日(火曜日)



千住金属工業

千住金属工業は、はもCO₂削減に対するんだ事業の観点から力関心が高まっている。ーボンニュートラルに当社は「環境ビジョン2050」を策定し、企業活動における低炭素社会の実現に向けて界に広く提案を始めている。

低温ソルダリングの開発

実装業界に広く提案開始

話す。
はんだの融点が低いことは、はんだ槽の省電力化のみならず、装置の消耗低減などソルダリングのさまざまなプロセスにおいて好影響を及ぼし、その結果がカーボンニュートラ

ーボンニュートラルのリーディングカンパニーを目指す。
小峰統轄部長は「はんだ槽はSn-Bi系融点ははんだで発生しやすいドロスを低減し、基板に付着するドロスを少なくする新たな噴流ノズルや、ドロスをフロー装置内で再利用する技術など、さまざまな開発を行ってきた。また、Sn-Bi系の流動性を改善するフラックスの開発により、このプロセスの量産も可能になった。当社の提案が実装業界に受け入れられて、一部の家電製品で量産適用が始まった」と述べる。

小峰滋男営業2部統轄部長は「産業界でカーボンニュートラルに対する取り組みが加速する中で、実装業界で

取り組んでいる。その一環として、当社の顧客である実装業界に向け、低温はんだを使用したフローソルダリングの製造プロセスを開発、提供すること、顧客のカーボンニュートラルに貢献する」と

はんだ業界における力

取組んでいる。その一環として、当社の顧客である実装業界に向け、低温はんだを使用したフローソルダリングの製造プロセスを開発、提供すること、顧客のカーボンニュートラルに貢献する」と

はんだ業界における力

取組んでいる。その一環として、当社の顧客である実装業界に向け、低温はんだを使用したフローソルダリングの製造プロセスを開発、提供すること、顧客のカーボンニュートラルに貢献する」と

はんだ業界における力

取組んでいる。その一環として、当社の顧客である実装業界に向け、低温はんだを使用したフローソルダリングの製造プロセスを開発、提供すること、顧客のカーボンニュートラルに貢献する」と

はんだ業界における力

取組んでいる。その一環として、当社の顧客である実装業界に向け、低温はんだを使用したフローソルダリングの製造プロセスを開発、提供すること、顧客のカーボンニュートラルに貢献する」と

はんだ業界における力



小峰 統轄部長

今年1月25～27日の3日間、東京ビッグサイトで開催される「第15回国際カーエレクトロニクス技術展」に出展した。